

論文等フォーマット (ゴシック体 14~18) (副題がある場合は括弧でくくる)

How to Prepare a Technical Paper of Journal of JWEA (Times New Roman 14) (○○○)

風上 太郎 (明朝体 12) *1

Taro KAZAKAMI

吹雪 強*2

Tsuyoshi FUBUKI

風 薫*3

Kaoru KAZE

(Times New Roman 12)

*1 Professor, Nihon Furyoku Univ., Dept. of Wind Engineering 1-1 Asahicho, Kazamishi, 100-1111, Japan
Fax:+81-3-12-3456, E-mail: furyoku@wind-u.ac.jp

*2 Graduate Student, Nihon Furyoku Univ.

*3 Chief Researcher, Ookaze Electric Co., Ltd., 2-2 Kazamashi, Syunpuchou, 200-2222, Japan
(Times New Roman 10)

Abstract (Times New Roman 12, bold)

This document provides information and instruction for preparing a technical paper of the Journal of Japan Wind Energy Association on A4 sheets using your computer and a laser printer. Follow the specifications in this document and refer to the attached templates to determine the layout of your pages. The preferred spacing to the next heading is one line space. The abstract should be 12 pt. boldface. It should be center with the printing areas. (Times New Roman 10)

キーワード : 論文, レイアウト, マージン (明朝 10)

Key Words : Technical paper, Layout, Margins (Times New Roman 10)

1. はじめに (ゴシック 10)

この執筆要領は、一般社団法人日本風力エネルギー学会論文集に投稿する論文、技術報告書および技術ノート of 原稿を、文書作成ソフトウェアを使用してA4版で作成するために必要な情報を示したものです。図1の原稿見本をレイアウト時の参考として下さい。そのほかの執筆上の注意事項は、各記事共通の注意事項が記載されている別紙「論文投稿要領」に従ってください。(明朝 10)

2. 使用言語とページ数及び概要

使用言語は日本語を原則としますが、英語も可とします。ただし、日常的に英語を使用していない著者による英語論文については、ネイティブによる文章のチェックを受けたものとします。

ページ数は論文および技術報告書は8ページ以内、技術ノートは2ページを基準とします。超過する場合は論文投稿要領を参照して下さい。

なお、ページ数には、本文が日本語の場合には150語程度の英文アブストラクトを、本文が英語の場合には200字以上1ページ以内の日本語概要を含めてください。

3. 原稿の体裁

提出された原稿は、写真製版にてそのまま白黒印刷、製本されます。従って、原稿は文書作成ソフトウェアとプリンタを使用して、図、表、写真等をすべて貼付し、鮮明に仕上げてください。なお、カラー印刷を希望する場合には論文投稿要領を参照して下さい。

4. レイアウト

4.1 ページレイアウト

ページレイアウトは、図1を参考にしてください。各マージンは以下の通りです。

上端マージン : 27mm

下端マージン : 22mm

左端マージン : 20mm

右端マージン : 20mm

段間 : 8mm

各マージンを除いた縦248mm×横170mmの範囲が写真製版により印刷される領域です。基本的に本文は2段組とし、1ページあたり、和文の場合は24文字×

*1 日本風力大学工学部教授 (〒100-1111 風見市旭町1-1) E-mail:furyoku@wind-u.ac.jp (明朝 8.5)

*2 日本風力大学工学部大学院生

*3 大風電気(株)主任研究員 (〒200-2222 風間市春風町2-2)
(原稿受付 : 年 月 日)

4 6 行×2 段の計 2 2 0 8 文字，英文の場合は 6 2 行×2 段の計 1 2 4 行程度とします。

4.2 第 1 ページのレイアウト

(1) 本文が日本語の場合 図 1 のように，第 1 ページは，1 行目より標題（和文，英文），著者名（和文，英文），所属（英文），E-mail アドレス，英文アブストラクト（約 150 語），キーワード（和文，英文）および本文を配置し，左欄最下部に脚注として代表著者の所属，役職，住所，電子メールアドレスを配置します。他の著者についても所属，役職を配置します。また，原稿受付日の記入欄（日付は空欄）を設けてください。標題，著者名，英文アブストラクト等の文字サイズは 4.4 に示します。なお，英文標題と和文著者名，英文著者名と「Abstract」，アブストラクト本文とキーワード，「Key Words」と本文のそれぞれの間は 1 行あけてください。

(2) 本文が英語の場合 本文が日本語の場合とレイアウトは同じですが，日本語の標題，著者名，キーワードは必要ありません。すなわち，英語のみの表記になります。ただし，最終ページに，すべて日本語で，標題，著者名，キーワード，概要を，上記(1)を参照して記入してください。

4.3 第 2 ページ以降のレイアウト

2 ページ目以降は，2 4 文字×4 6 行×2 段＝2 2 0 8 文字の所定の領域をすべて使ってください。ただし，上下左右のマージンは厳守してください。

4.4 文字の種類とサイズ

文字の種類は，日本語は明朝体，英語はタイムズニューローマン体(Times New Roman)またはセンチュリーールドローマン体(Century Old Roman)を原則とします。ただし，日本語の標題はゴシック体，章節などの見出しは，日本語はゴシック体，英語は太字(Boldface)とします。

パラメータは斜体とします。数量と単位の間には半角スペースを入れてください。

(1) 本文が日本語の場合の標準文字サイズ

本文： 10pt.
標題(和文)： 14～18pt. (本例は 14pt.)
(副題がある場合，行間隔 16pt.)
標題(英文)： 12～14pt. (本例は 14pt.)
(副題がある場合，行間隔 16pt.)
著者名(和文)： 10.5～12pt. (本例は 12pt.)
著者名(英文)： 10.5～12pt. (本例は 12pt.)
所属(英文)： 10pt. (行間隔 10pt.)
「Abstract」の文字： 12pt.
英文アブストラクト本文： 10pt. (行間隔 10pt.)

キーワード(和文，英文) 10pt. (行間隔 10pt.)

脚注の所属等： 8.5pt. (行間隔 10pt.)

参考文献： 9pt. (行間隔 10pt.)

(2) 本文が英語の場合の標準文字サイズ

本文： 10pt.
標題： 15～20pt.
著者名： 12pt.
「Abstract」の文字： 12pt.
アブストラクト本文： 10pt.
キーワード： 10pt.
脚注の所属等： 8.5pt.
参考文献： 9pt.
和文概要表題： 14～18pt.
和文著者名： 10～12pt.
和文本文 10pt.

4.5 各項の注意

(1) 英文アブストラクト 段落の先頭には 5 文字分程度の空白を入れてください。

(2) キーワード 和文と英文のキーワードを 5 語程度入れてください。

(3) 本文見出し 章，節などの見出しはすべてゴシック体，左詰めとします。また，章と章の間は 1 行あけてください。節は改行して 1 文字あけて本文とします。項および細項は見出しのあと改行せず，2 文字あけて本文とします。

符号は次の通りです。

章： 1., 2., (全角)

節： 1.1, 1.2, (半角)

項： (1), (2), (半角)

細項： a., b., (全角)

(4) 図，表，写真 原則として段組内に収まる大きさとなります。上下の本文とは 1 行分以上の空白を設け，図・表・写真の左右の余白に本文は入れないようにしてください。

図・表・写真の標題とそれに付随する説明文は英文とし，本文と同程度の大きさの文字を使用してください。図中の凡例や縦横軸の付帯語は英文とし，9.5pt. の大きさの文字を使用してください。図・表・写真内の語句は英文をとします。印刷はモノクロを原則として見やすいように工夫し，特に，記号等が小さくならないように注意してください。なお，カラー印刷を希望する場合には論文投稿要領を参照して下さい。

図・表・写真を原稿に貼付する場合は，郵送や印刷処理の途中で剥離しないように注意してください。

図および表の番号は次の通りとします。

Fig. 1, Fig. 2, ..., Table 1, Table 2, ...

図・表において特に留意したい点を以下に示します。

- ①図・表は、印刷の版を直接作成するため、鮮明なものを作成してください。
- ②他人の図をそのまま転載する場合は、著作権法に抵触するため原著者の許諾を必要とします。投稿者自身で許諾を取り、責任は著者に帰属します。
- ③写真や波形写真は論文集掲載時に不鮮明となるので印刷物で代用しないでください。またデジタルスキャンする場合は 1024×768 ピクセル以上の解像度としてください。
- ④図・表中の文字の大きさは小さすぎる傾向があります。上記のように 9.5pt. 以上としてください。
- ⑤図・表内の線は、1mm 程度の太さの線を使用してください。また図内の○や△等の印は明瞭に区別できるようにしてください。
- ⑥図・表の背景の色は、印刷時に鮮明であるように、原則的に白色を使用してください。特に灰色やグラデーションおよび網掛等は使用しないでください。
- ⑦図・表中の英単語は、最初の 1 文字のみを大文字とし、次の単語からは全部小文字としてください。
- ⑧図の目盛は、見やすくし、必要であれば縦・横の適当な間隔で補助目盛線を入れてください。
- ⑨図中の文字が、本文中に使用している学術用語・数字・記号・単位と相違しないように特に留意してください。
- ⑩上付き、下付き数字または記号は、通常の文字に比べて小さくなるので明確に判読できるように記載してください。
- ⑪当該図・表とそれを説明する文章は、原則的に同一ページ内に記載されているように、投稿者は編集の際に留意してください。

(5) 数式 原則として段組内に収まる大きさとし、上下の本文とは 1 行分の空白を設け、式の番号は次のように式と同じ行に右寄せして両側丸括弧の中に書いてください。

$$V_z = V_h(z/h)^{1/n} \quad [\text{m/s}] \quad (1)$$

z , h などのように量記号はイタリック体、m/s, kW などの単位記号はローマン体(立体)で記述してください。

(6) 参考文献 本文中の引用箇所には、文章の右肩に片側丸括弧を付した番号を記入し、末尾にまとめて記載してください。

参考文献の記載方法の留意点を以下に示します。

- ①一般に公表されていない文献(投稿予定および投稿中で未発表の論文も含む)は、できるだけ引用しない。

②参考文献の書き方は次の形式に従ってください。

(文献番号)

参考文献は本文中で引用する順に番号を付け、片側丸括弧で示して下さい。

(著者名)

著者全員の姓および名のイニシャルを書いてください。原則として著者名は省略しないでください。ただし、日本語の場合は名を省略しても結構です。

(文献の表題)

参考文献の表題は、必ず著者名の後に省略せずに表題すべてを記載してください。

(誌名・書名)

誌名は、論文の表題と区別するため斜体で書いてください。

単行本の場合は発行社も記載してください。

(巻, 号, 発行年)

巻, 号は, Vol., No., としてください。

発行年は, 西暦で記入してください。

単行本で改版の場合は, 版数を記載してください。

(ページ数)

ページ数は, 雑誌・講演論文集などの論文を引用した場合は, 当該論文の始まりのページと終わりのページを pp. ○-○と明示してください。単行本の場合は, 引用したページのみを明示してください。講演論文集等で通し番号が無い場合は, 講演番号等の参考文献が特定できる番号等を明示してください。

ホームページから引用する場合は上記に加えてホームページアドレスを明示してください。

(7) ページ数 原稿の右上欄外にページ数を 1/8, 2/8, ..., 8/8 と記入してください。

5. その他

原稿に不備がある場合、事務的に書き直しを依頼しますので、原稿の作成にあたっては十分に注意してください。

5.1 原稿表紙

原稿表紙は本会ホームページからダウンロードして下さい。原稿表紙にはいろいろな情報を記載するようになっていますので、記入漏れがないようにしてください。特に、投稿者の資格、未投稿の確認、該当する技術分野などの記入漏れがあると、受付後の原稿が正しく処理されない場合がありますので、注意してください。

5.2 論文等の受理通知

本会事務局から電子メールで論文等の受理を通知します。

参考文献(ゴシック 9)

和文雑誌の記載例

1) 風力太郎・北風強, 風力エネルギーの研究, *日本風力エネルギー学会論文集*, Vol.1000, No.12, 2009, pp.4-28.

英文雑誌の記載例

2) Furyoku, T., Kitakaze, T., Study on Wind Energy, *Journal of Wind Energy, JWEA*, Vol.1000, No.12, 2009, pp.4-28.

書籍の記載例

3) 風力太郎, *風力エネルギーハンドブック*, 風力社, 2 版, 2009, p.19.

ホームページの記載例

4) Furyoku, T., Development of Wind Energy, <http://furyoku.jp>, アクセス 2009 年 6 月 25 日.

(和文は明朝体 9, 英文は Time New Roman 9)

改定履歴

2009 年 12 月 22 日

旧版を文言整理して新フォーマットを制定.

2011 年 7 月 7 日

「協会」を「学会」へ変更.

4.5(4) 原則としてモノクロ印刷であることを追記.
2013 年 6 月 10 日

4.5(4) 図・表・写真内の語句の英文標記を追記.
2013 年 11 月 27 日

参考文献の番号の付け方と記載例を追記.
2014 年 3 月 5 日

参考文献の英文フォント Time New Roman 9 を追記.
2014 年 8 月 7 日

論文種別を新规定に整合. 4.4 節にパラメータと単位の表記方法を追記.

2017 年 1 月 16 日

基準頁数を 6 頁から 8 頁へ変更.

超過頁について追記.

カラー印刷を可能とする記述を追記.

論文等受理通知をハガキから電子メールに変更.

2021 年 3 月 11 日

図・表・写真の標題とそれに付随する説明文は英文に統一.

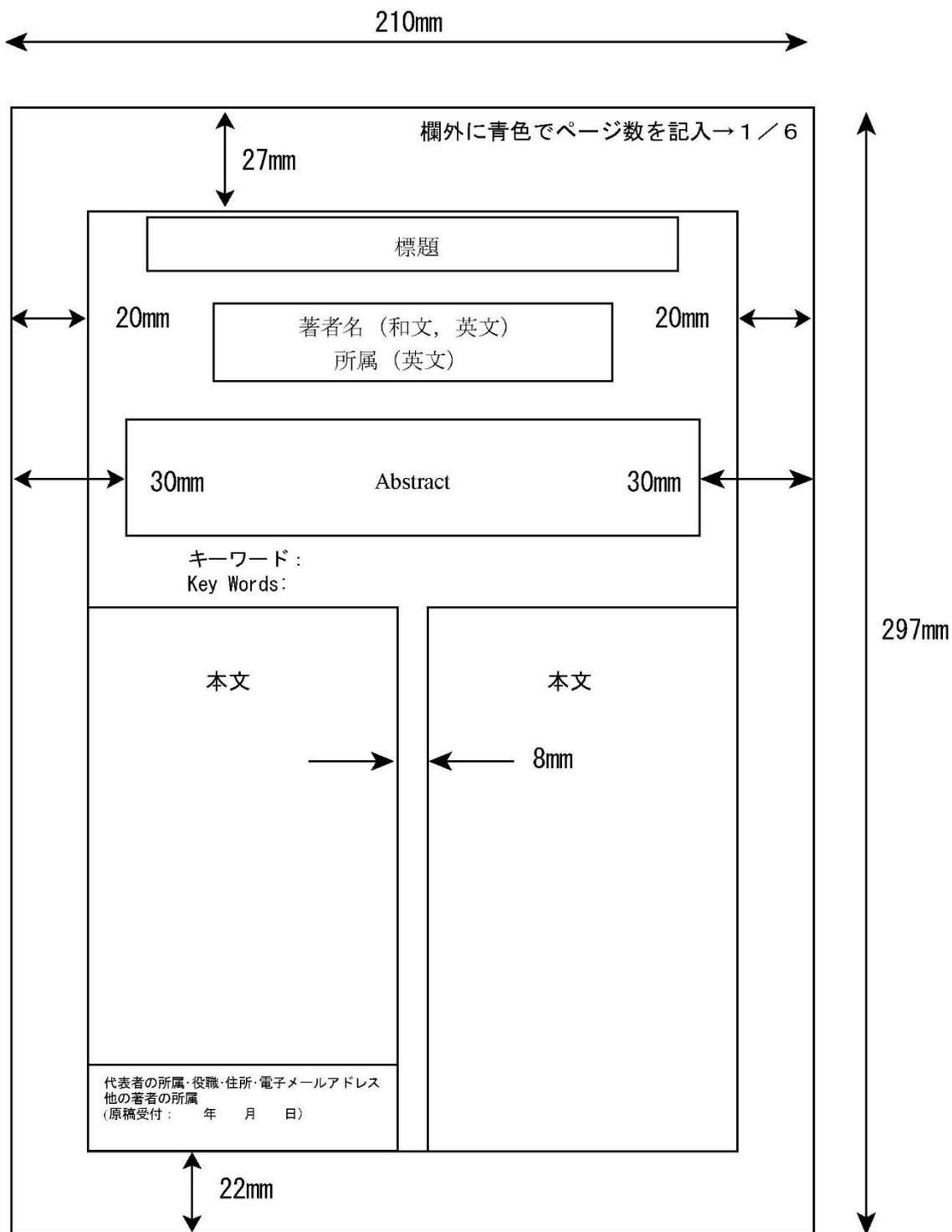


Fig. 1 Layout of the first page of the paper

図1 論文第1ページのレイアウト例